



京	都	丹	波						
	オ	レ	ン	ジ	ロ	ー	ド		第19号
つ	な	げ	隊		隊	員	だ	よ	り

5月30日全体企画会議を開催しました！

～今年度は2部制として開催～

【第1部】認知症と共生する社会を考える会 🍊 🍊 🍊

京都府認知症応援大使の下坂 厚さんをお招きし、インタビュー形式で実体験など多くのお話をお聞きしました。

また、参加者からの質問にも丁寧に答えていただきました。

「認知症の診断がついてからも自分らしく生きたい。でも周囲の接し方が「認知症の人」との特別なものとされてしまうので、なかなか難しい」

「周りが良かれと思ってしてくれることは理解するが、まだ自分でできることまでやってもらうと自分の能力を奪われた気持ちになる。見守ってくれたり、一緒にやってくれる支援が本人にとってはありがたい」 など

こういった当事者の生の声を聞き、支援する側としての反省点を見つけることができました。今後の支援のあり方について議論する時間もあり、大変学びの多い時間となりました。



<参加者>

つなげ隊員、各地域包括支援センター職員、市町担当者、認知症疾患医療センター、保健所担当者 計23名

★京都府認知症応援大使とは…

京都府では、認知症の関心・正しい理解を深めるため、認知症ご本人として、共に普及啓発活動を行っていただける「京都府認知症応援大使」を委嘱している

【第2部】「京都丹波オレンジロードつなげ隊」企画会議

第1部に引き続き、下坂 厚さん、認知症疾患医療センターの眞継看護師にも会議に参加いただきました。

①R6年度活動報告、②R7年度活動計画（裏面に記載）について、保健所からの報告及び出席者の皆さんから発表をしてもらいました。

《つなげ隊の活動内容をお聞きいただき、下坂さんからのご意見をご紹介します》

・他府県などで希望大使の発掘等もやっている中、本人はやる気はあっても家族がNGということが多。 (当事者は) 今の状態をキープできるわけではないから、本人が今やりたいと思っていることをやらせてあげられるように、ご家族の説得を皆さんたちのような立場の人に頑張ってもらいたい。

《その他 保健所からの連絡事項》

- ・啓発時には、つなげ隊Tシャツ(お渡し)やジャンパー(貸出)の着用をお願いします。
- ・今年度からの啓発活動は、当事者参加型の活動に力を入れていく方向です。
- ・南丹管内において「京都府認知症応援大使」になっていただける人はいないか。
- ・もしバナカードの貸出ができます。



亀岡市

9月 ライトアップ、
家族会と駅前街頭啓発
認知症市民公開講座
10月 市民福祉のつどい
11月 認知症サポーター養成講座
その他 映画「オレンジランプ」上映

南丹市

6～10月 オレンジが-デコングプロジェクト
(オレンジプロジェクト)
9月 認知症映画上映(オレンジラップ)
ライトアップ
12月 クリスマスボランティア体験で
の啓発活動
その他・本人ミーティングの開催
・下坂厚氏の写真パネルの展示
・園部労働基準協会定期健診に
おける若年性認知症啓発

京丹波町

6月、9月 認知症家族会
10月 ウェルネスフェスタ
(認知症啓発ブースで啓発活動)
(当事者参加)
その他 京丹波町隊企画会議 など

7月17日(木)に南丹市国際交流会館のコスモホール前で若年性認知症を中心とした啓発活動をしました。

令和7年度の園部労働基準協会定期健診に来られる働き盛りの方への若年性認知症啓発活動をしました。健診の後、多くの方が足を止めてくれました。4名のつなげ隊員さんが参加してくださり、チラシや啓発グッズの配布、認知症チェックを実施しました。チラシ等の配布人数は約130名、認知症チェック参加者は約50名でした。

(啓発グッズはボールペンを、認知症チェックに参加してくれた方にはハンカチタオルをお渡ししました。)

参加してくれた方々は、決して他人事ではないといった面持ちで認知症チェックをし、お話を聞いてくれました。



これからの認知症啓発活動には、認知症基本法に基づく認知症施策の新たな展開、共生社会の実現が求められ、「新しい認知症観」に立つことが重要とされています。

「新しい認知症観」とは、

認知症になっても、一人一人がやりたいことを持ち、住み慣れた地域で人とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方のことです。

「認知症になったら何もできなくなる」という古い考え方は過去のもの。認知症の人の視点や体験を中心に据え、共に生きる社会の実現を目指す活動を私たちも考えていかなければなりません。認知症があっても「できないこと」ではなく「できること」に目を向け、一人ひとりが自分らしく、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会を、私たちみんなの力で作っていききたいものです！

そして、認知症の人自身が発信者となる機会を作ることも重要な取り組みです。

では私たちはどのような活動をしていけばいいのでしょうか？

- ・ 認知症の人自身が体験を語るイベント
- ・ 地域のお店や施設での「認知症にやさしい」取り組み
- ・ できることに注目した活動や居場所づくり
- ・ 若い世代と認知症の人との交流会 など

こういった活動が広がっているようです。

このような活動は、特別なスキルがなくても参加できます。認知症の方もそうでない方も、すべての人が自分らしく生きられる社会づくりを積極的に企画、参加していきたく思います。

新隊員加入！！



6月に開催された新任者研修を経て、新たに4名の方が隊員に変わりました。

亀岡市 1名、南丹市 1名 京丹波町 2名 の方が新たにつなげ隊員になりました。

啓発活動をますます盛り上げていきたいと思えます。また、皆様の周りに、「一緒に活動したい！」言ってくださるつなげ隊希望者がありましたら、ぜひ保健所担当者までご連絡ください。

